

今回二五〇点の作品を見せていただきました。優秀な作品に感心しつつ、墨色を変化させるだけで良くなる作品や文字の大きさを工夫することで立体感の出る作品が数多くありました。自分で試作を繰り返すことも大切ですが、作品効果を上げるコツをつかむために水明セミナーを活用されてはいかがでしょう。か。通信で添削を受けることもできますので、お気軽に受講してください。

かな部 条幅課題

A 色見えでうつろふものは世の中の

人の心の花にぞありける

(小野小町)

・花は色が見えて変化してゆくが、その様子も見えずに変化してゆくのは男女の関係のなかでの、人の、花のようにあだなんであることよ。

B すかし見て星にさびしき柳哉

(三浦栲良)

・若緑の枝を透かして星をみると、寂しさがわきあがってくる。

(しめきり).....五月十七日

◎条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

なお、作品の裏右下に段位、氏名を忘れず記入のこと。

※出品資格：五段以上。A・Bの両方同時に出品可。

※二点出品の場合、出品券の下部にA・Bを明記のこと。

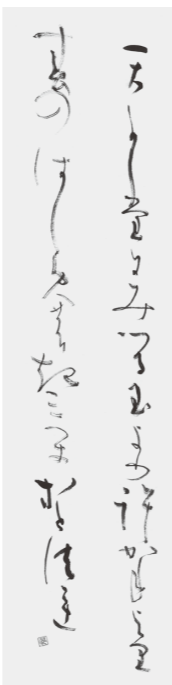
※用紙は、半切縦か角半。

(選評)

師範・準師範の部

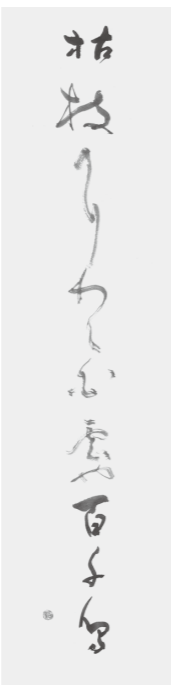
瑞泉君 力強い渴筆が魅力的。
翠柳君 ちらしに工夫あり。特に二群目が伸びやかで良い。
千賀子君 運腕大きく、躍動的。流れも素晴らしい。
正美君 間の取り方がうまく、余白が美しい。
緑菫君 淡い墨色と線質がよく合い温和な作品に仕上がった。

(助教以下の部)



木村翠孝

幅の広い字形や長い連綿線が効果的。



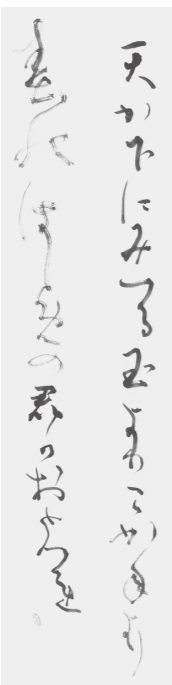
江南鶴

筆を開閉させ、味わい深い線が出せた。



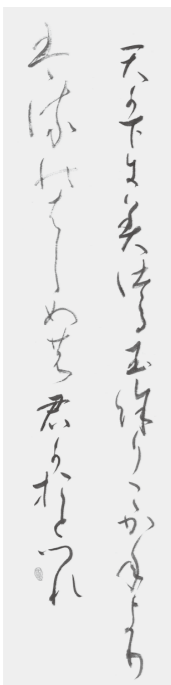
小根田暁雲

素直な書きぶりで周囲の余白が作品をスッキリさせた。



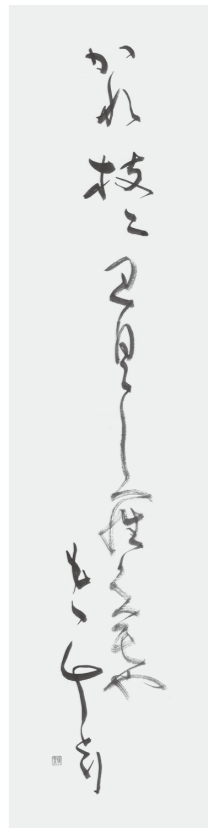
梶山昭子

行の揺らし方が上手で、大胆な見せ場に圧倒される。

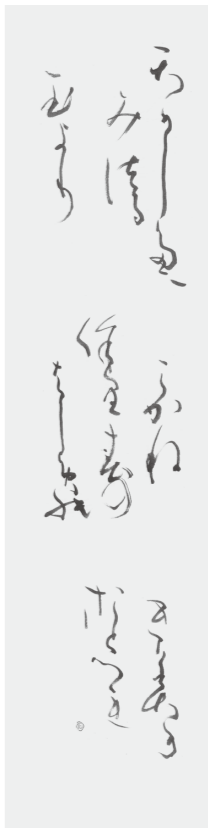


田麥知風

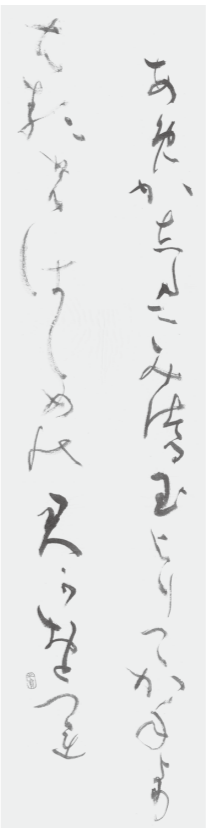
穂先がよく利き、墨色の変化が自然で流麗な作。



安積瑞泉



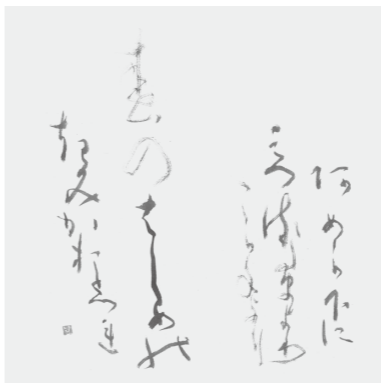
八幡翠柳



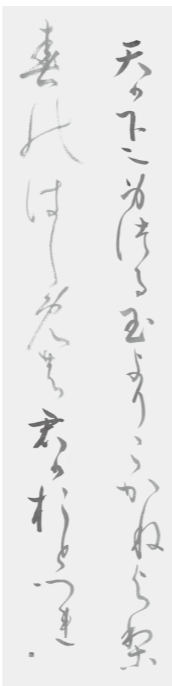
中川千賀子



加茂正美

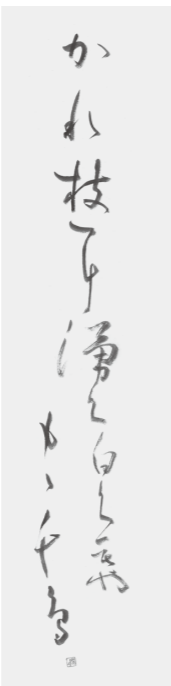


小林緑菫



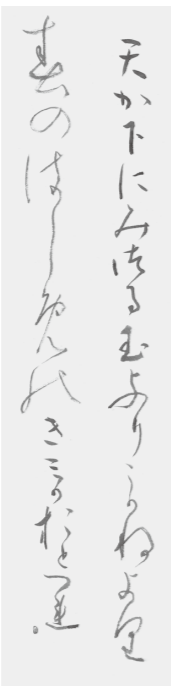
位ノ花葉子

文字の中の空間が作品全体を明るくしている。



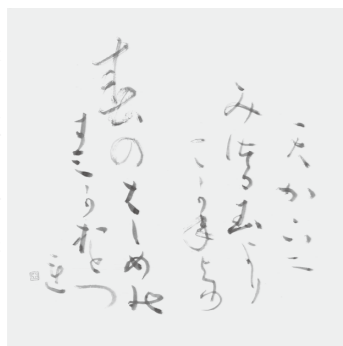
北村映月

シャープな直線が際立ち、字の大小にも工夫が見られる。



岡田清子

素直な筆致で大らか。線の太い箇所があれば更に良くなる。



小野内亜希子

単体の箇所が多いが、字間につながりを感じる作。



今井清翠

漢字を多用しているが柔らかな雰囲気です。